

## 2013年理工A方式第2問

2 10円硬貨3枚と100円硬貨3枚を同時に投げて、表の出た10円硬貨の枚数を $X$ 、表の出た100円硬貨の枚数を $Y$ とし、 $X$ と $Y$ の大きい方を $Z$ とする。ただし、 $X$ と $Y$ が等しいときは $Z = X$ とする。

(1)  $X \leq 1$ である確率は  $\frac{\boxed{\text{ク}}}{\boxed{\text{ケ}}}$  である。

(2)  $Z \leq 1$ である確率は  $\frac{\boxed{\text{コ}}}{\boxed{\text{サ}}}$  である。

(3)  $Z = 3$ である確率は  $\frac{\boxed{\text{シ}} \quad \boxed{\text{ス}}}{\boxed{\text{セ}} \quad \boxed{\text{ソ}}}$  である。

(4)  $Z$ の期待値は  $\frac{\boxed{\text{タ}} \quad \boxed{\text{チ}}}{\boxed{\text{ツ}} \quad \boxed{\text{テ}}}$  である。